



1. あなたの区分をお聞かせください

- ・ ABiS の支援関係者 / 6
- ・ 利用者 / 3
- ・ いずれでもない / 24

2. あなたの職名をお聞かせください

- ・ Senior faculty (教授・准教授相当職) / 8
- ・ Junior faculty / 5
- ・ ポスドク / 2
- ・ 学生・大学院生 / 6
- ・ 企業研究者 / 6
- ・ テクニカルスタッフ / 0
- ・ その他 / 6 (放射線科医・研修医・診療放射線技師・会社経営者など)

3. 本シンポジウムが開催されることを何で知りましたか？ (複数回答可)

- ・ ABiS のポスター / 15
- ・ ABiS のウェブサイト / 4
- ・ ABiS からのメール案内 / 5
- ・ 知人の紹介 / 4
- ・ ABiS 支援者の紹介 / 4
- ・ ABiS 利用者の紹介 / 0
- ・ その他 / 1 (教授からの紹介)

4. 本シンポジウムに参加した感想をお聞かせください

- ・ とても満足 / 16
- ・ やや満足 / 15
- ・ 普通 / 2
- ・ やや不満・とても不満 / 0

<シンポジウムについて自由にご記入ください>

- ・ 脳 MRI に特化したシンポジウムで最新トレンドを聴くことができ大変よかった。
- ・ HCP、UK Biobank の一戦の先生からプレゼンしていただいた。
- ・ 福永先生のお話がわかりやすかった。しかし、自身の知識、英語力不足もあり全体的にすごく理解が深まった気がしていない。MRI のことがわからないので、コホート研究との兼ね合いがわからなかった。
- ・ 実情がよくわかりよかった。Ultra High Field は cohort study に向かないのではないか。関連性は何か。
- ・ 様々な分野の優秀な研究者の方々のお話が聴けてよかった。
- ・ バラエティに富んだスピーカー、講演内容で満足した。
- ・ 時間がちょうどよかった。
- ・ Discussion が低調だった。
- ・ 出席者が少ない。
- ・ Coffee break longer would be better—more time for socializing and talk among attendants. Coffee break at the begining even better.

5. 今後イメージングに関するどのような研究支援があればいいと思いますか？

- ・ イメージ処理の基本技術の Directory の web ページの校正など (歪み補正など)
- ・ グラント、データ解析プラットフォーム (無償)
- ・ Super resolution microscope
- ・ New ideas と最先端技術の共同
- ・ データ解析研究支援
- ・ 他施設との連携支援
- ・ 小規模研究集会への支援

6. 今後どのような技術講習会やイベントがあればいいと思いますか？

- ・コネクティビティの解析を行うにあたり、個人で基礎からグラフ理論を理解することはハードルが高いため、実際のソフトウェアを使いながらその原理を教えていただける講習があるとうれしい。
- ・支援内容と各技術の基礎知識のレクチャー（できれば日本語で）や解析における注意点等のレクチャー
- ・デモデータを用いたデータ解析の技術講習会（fMRI や DTI の扱い方等）
- ・AI の話題が多かったように思うので、AI とイメージングを組み合わせたテーマのイベント
- ・MRI 解析に必要な統計学についての講義
(VBM はすでに開催されているが、fMRI や DTI についてのもの)
- ・数学者から見たメディカルイメージングの諸問題の解決法についての講習会
(Deep learning、AI 等)
- ・Multi-Model Imaging (Human Brainに限らず)
- ・講習会のビデオ配信
- ・Analytical methods, e. g. how to use python, R to analyze images.

7. ABIS へのご意見、ご要望がございましたらお聞かせください

- ・今回のシンポジウムでは MRI 研究者が一堂に集まり有意義な講演だった。今後もこのような講演会を開催してほしい。
- ・研究成果会を開催してほしい。
- ・技術講習会の主旨を明確にしてほしい。(参加条件など) ○○脳との切り分け(役割分担)は？
- ・技術支援が目的の団体であればもっとプロモーション活動をすべきではないだろうか。今回のシンポジウムで支援を受けたい人がどのくらいいたのか？と思った。